

(様式4)

情報公開文書

課題名 : CTにおける腰椎物質密度画像のウィンドウレベルとウィンドウ幅の最適化に関する研究
研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2024年5月26日
研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2020年10月1日から2023年10月31日の間に腰椎のCTとMRIを同時期に受けており、かつ腰椎の椎体骨折の診断を受けている方。

2. 研究目的・方法

デュアルエネルギーCTでは、1回の撮影で、様々な画像を生成することが出来ます。その中で体内の物質を弁別し、物質の強調や抑制をする物質密度画像を生成することが可能です。これを用い、骨のカルシウムを抑制し、水分を強調することで骨髄浮腫を描出でき、新しい骨折や骨挫傷などの診断に有効とされています。

通常のCT画像が白黒を基本とする中、物質密度画像ではカラー表示も有用であり、疾患を見つけやすくなります。従来の画像同様、画像を生成する際には適切な諧調(ウィンドウレベルとウィンドウ幅)の調節が必要となります。本研究では、骨折と正常な椎体に焦点を当て、それぞれの組織の物質密度を測定し、最適な諧調(ウィンドウレベルとウィンドウ幅)を見つけ、画像品質や診断能向上に寄与することを目的としています。

研究方法は、対象となる患者さんの撮影済みCTおよびMRI画像を使用して物質密度値を測定し、得られたデータをもとに、当院の診療放射線技師による比較検討を行います。

なお、対象となる患者さんに追加検査等お願いするものではありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液, 組織, 細胞, 体液, 排せつ物などヒトの体の一部 情報: CT, MRI の画像

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
浜松医療センター 診療放射線科 渡辺 恵太郎(研究責任者)
住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328
電話: 053-453-7111(病院代表)

2023年12月8日作成